

総合支所編

菊川総合支所	377
地域政策課	
市民生活課	
建設農林課	
下関北部建設事務所	
豊田総合支所	386
地域政策課	
市民生活課	
建設農林課	
下関北部建設事務所	
豊浦総合支所	397
地域政策課	
市民生活課	
建設農林水産課	
下関北部建設事務所	
豊北総合支所	405
地域政策課	
市民生活課	
建設農林水産課	
下関北部建設事務所	

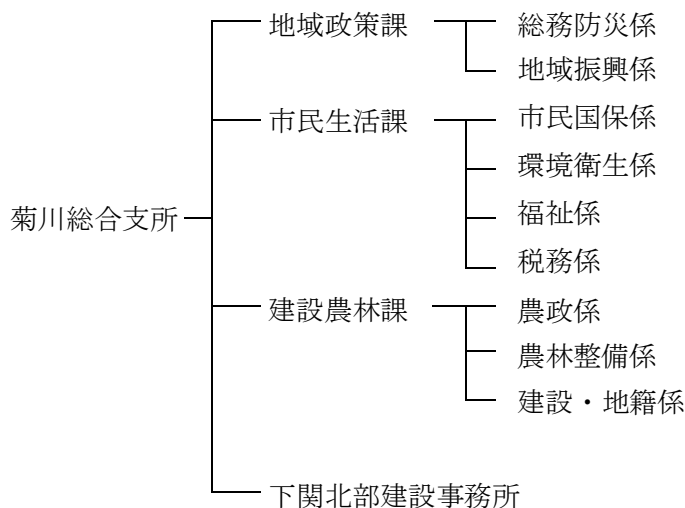
菊川総合支所

1. 菊川区域の概要及び特色

市内最高峰の華山など、多くのなだらかな山に囲まれた盆地状の形態をなしており、ほ場整備がされた田園を縫うように、木屋川、田部川、歌野川などの清流があり、「小日本 きくがわ」と呼ばれ、風物詩漂う日本の原風景をみることができる。このような自然環境の良さは、地域の皆が等しく実感しているところである。

地理的条件では、小月インターまで7分、新下関駅まで30分で、都市近郊にある。また、町内の周辺部から中心部までが近く、求心性にも恵まれている。生活環境面では、上下水道の整備も進んでおり、自然環境の良さともあいまって住みやすい町である。

2. 菊川総合支所の概要



3. 特色ある事業

(1) 観光宣伝業務【地域政策課】

菊川地区の観光振興を目的とし、桜観賞、ホテル観賞、夏まつり花火大会を開催し交流人口の拡大を図っている。また、公の施設としての活用を廃止した旧菊川自然活用村については、自然を楽しむことができる公園としての利用を継続するため、令和4年3月に屋外トイレを設置するとともに、周辺環境の維持管理を実施している。

今後も道の駅きくがわを観光拠点とした観光情報の発信と、各種イベント開催による交流人口拡大を図る。

4. 所管する施設

(1) 市営宿舎サングリーン菊川【地域政策課】

1) 沿革

宿泊施設誘致のため、昭和55年9月に雇用促進事業団が建設。平成15年3月に旧菊川町が建物を購入した。老朽化や利用者ニーズの変化に伴い利用者が減少したため、平成21年に耐震補強の実施と併せてバリアフリー化等のリニューアルを実施。平成18年4月から指定管理者制度を導入している。

2) 施設の概要

所在地	下関市菊川町大字下岡枝字西所光511番地6
建築面積	806.70 m ² (延床面積2,020.91 m ² ・敷地1,485.46 m ²) 鉄筋コンクリート造陸屋根3階建
建設事業費	417,000千円
施設使用料	宿泊 4,610～8,130円 研修室等 2,200～4,400円 入浴料 620円(入湯税別) 小学生 半額
業務内容	宿泊、食事提供他
指定管理者	一般財団法人 下関市公営施設管理公社(公募、R5.3.31まで)
公共施設の 適正配置に 関する方向性	当該施設は、宿泊施設であり、一般的に民間と競合する公的施設であることから、中期(2023～2028年度)までに譲渡する方向で検討する。

3) 施設の現況(令和3年度利用者数)

宿泊	宴会	会議研修	その他の食事	一般入浴	計
4,322人	980人	1,477人	867人	18,022人	25,648人

4) 将来計画

利用者が徐々に減少しているため、独創性ある取り組みが喫緊の課題となっている。修学旅行の誘致や特産品をふんだんに使った郷土料理の紹介、特色のあるメニュー開発等。

(2) 菊川温泉プール【地域政策課】

1) 沿革

勤労者の福祉を増進する施設として、昭和53年4月に雇用促進事業団が建設。平成15年3月に旧菊川町が購入した。平成19年8月30日に、天井の筋かいが腐食により落下したため休館。その後、検討を重ねた結果、幅広く市民に利用いただく体育施設として建て替えることに決定。平成21年度に旧施設を解体、平成22年度に本体工事に着手、平成24年6月から新施設の供用を開始した。

2) 施設の概要

所在地	下関市菊川町大字下岡枝547番地1
敷地面積	7,347.53 m ²
建築面積	1,236.16 m ² (延床面積1,124.05 m ²)
設備内容	25m×6コース、幼児コース(水深60cm)、入水スロープ併設
指定管理者	一般財団法人 下関市公営施設管理公社(公募、R5.3.31まで)
公共施設の 適正配置に 関する方向性	当該施設は、築10年のため、対象となる期間は存続の方向とする。

3) 施設の現況

年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
利用延人数	58,277人	51,419人	40,990人	35,862人	35,293人

(3) 菊川総合交流ターミナル【地域政策課】

1) 沿革

農林水産物の展示販売とこれら産物を活用した郷土料理の提供、観光、イベント情報、案内等情報の受発信を通じて都市と農村の交流を促進し、特産品の振興及び雇用の場の確保を図り、もって地域産業の振興に資するため、道の駅として県下7番目の認定を受け平成9年4月にオープンした。

2) 施設の概要

所在地	下関市菊川町大字上岡枝766番地1
敷地面積	2,541.41 m ² (借地)
建築面積	731.70 m ² (延床面積767.00 m ²)
建設事業費	259,000千円
施設使用料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農産物調理実習室・試食室 月額234,600円に売上高の4.0%を加算した額 ・ 農産物展示販売室 月額128,300円に売上高の2.4%を加算した額 ・ 調理実習・実演室 月額51,300円に売上高の3.4%を加算した額 ・ 特産品販売施設(6区画) 日額2,700円 ・ 屋外広場 日額5,230円/10m²当たり ・ 研修室 220円/1時間当たり
業務内容	・ 農林水産物等の展示販売並びにこれら産物等を活用した特産品の開発、加工及び販売

(菊川総合支所)

	<ul style="list-style-type: none">・地域食材を活用した郷土料理の研究及び提供・都市と農村の交流、情報の受発信及び各種イベントの企画構成
指定管理者	菊川町まちづくり株式会社（公募、R8.3.31まで）
公共施設の 適正配置に 関する方向性	当該施設は、築25年と老朽化のすすむ施設であるが、対象となる期間は存続の方向とする。

3) 施設の現況

年 度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
利用者数	216,780人	211,252人	212,253人	167,451人	171,901人

4) 将来計画

施設が狭小であるため、売り場通路の確保が難しく、車椅子の利用者等に不便をおかけしている。また、空きテナントとなっている調理実習・実演室について有効活用を図る必要がある。

(4) 菊川自然活用村【地域政策課】

1) 沿 革

農業者の研修及び相互交流を深め、都市生活者等が自然に親しみながら農業を理解し、相互の親睦を図るため、昭和61年4月に開設。平成28年3月31日に公の施設としての活用を廃止しているが、令和3年5月からは、旧自然環境活用センターを民間に貸付開始。令和4年3月には、施設全体に供給する配水設備のポンプを交換するとともに、旧自然環境活用センター横に屋外トイレを整備した。

2) 施設の概要

所 在 地	下関市菊川町大字上岡枝字歌野
敷地面積	39,913.57 m ²
建設事業費	284,500 千円

3) 将来計画

華山を背にした水源涵養の地、里山景観が豊かに残され自然に包まれた立地条件を特徴にした当該施設の適正な維持管理に引き続き努めるとともに、菊川歌野地区の自然観賞やその中で憩う観光客の癒しのスポットとして周辺環境の維持管理を行い、さらなる認知度を高め交流人口の拡大を図る。また、登録有形文化財「歌野清流庵」との連携を図っていく。

(5) 菊川体育館（愛称：菊川ベルちゃん体育館）【地域政策課】

1) 沿革

菊川地域周辺には、市立菊川中学校の屋内体育館と兼用の体育館しかなく、学校行事や部活動利用等により市民の利用について時間的制約を受けていたことから、地域スポーツの振興や地域住民の交流、健康づくり、体力づくりなどの環境整備を図るため、菊川地域のスポーツ中核施設として新たな体育館を建設した。平成29年度に竣工し、平成30年4月1日に供用を開始した。

2) 施設の概要

所在地	下関市菊川町大字下岡枝1477番地1
設置	平成30年4月1日
敷地面積	6,138.62 m ²
延床面積	1,890.09 m ²
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造 2階建
建設事業費	543,976千円
設備内容	1階 アリーナ（バレーボール2面、バスケットボール2面、バドミントン6面）、プレイルーム、本部室、更衣室、シャワールーム 2階 観覧席156席
指定管理者	一般社団法人菊川スポーツクラブ（公募、R5.3.31まで）
公共施設の 適正配置に 関する方向性	当該施設は、築4年のため、対象となる期間は存続の方向とする。

3) 施設の現況

年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
利用延人数	—	35,705人	31,769人	24,542人	23,076人

(6) 菊川運動公園【地域政策課】

1) 沿革

市民の健康の増進と体育の振興を図るため設置。

2) 施設の概要

所在地	下関市菊川町大字下岡枝56番地1
設置	平成3年9月1日
敷地面積	33,178.54 m ²
設備内容	野球場1, ソフトボール2, サッカー1（併用） テニスコート2（夜間照明設備あり）

(菊川総合支所)

指定管理者	一般社団法人菊川スポーツクラブ (公募、R5.3.31 まで)
公共施設の 適正配置に 関する方向性	当該施設は、築 31 年で、対象となる期間は存続の方向とする。

3) 施設の現況

年 度	29 年度	30 年度	元年度	2 年度	3 年度
利用延人数	29,765 人	24,657 人	28,368 人	22,124 人	26,189 人

(7) きくがわ温泉華陽【市民生活課】

1) 沿 革

住民の健康福祉を目的に、昭和 48 年に地域福祉施設「温泉華陽」として開設、ふるさと創生事業により新たな泉源を掘削、「きくがわ温泉華陽」としてリニューアルし、現在に至る。平成 18 年 4 月から指定管理者制度を導入している。

2) 施設の概要

所 在 地	下関市菊川町大字下岡枝字西所光 508 番地 1
建 築 面 積	538.49 m ²
建設事業費	157,957 千円
施設使用料	1 回大人 400 円、小学生及び幼児 200 円 休憩入浴 610 円
業 務 内 容	公衆浴場 泉質：ナトリウム炭酸水素塩・塩化物温泉
指定管理者	一般財団法人下関市公営施設管理公社 (非公募、R5.3.31 まで)
公共施設の 適正配置に 関する方向性	民間活力の導入を目的に、2028 年度までに譲渡する方向で検討する。

3) 施設の現況

年 度	29 年度	30 年度	元年度	2 年度	3 年度
利用者数	70,113 人	63,217 人	62,965 人	41,615 人	46,058 人

(8) 菊川老人憩の家【市民生活課】

1) 沿革

教養の向上、レクリエーション等、高齢者の健全な憩の場を確保し、高齢者の心身の健康増進を図ることを目的に、昭和51年1月に開設。平成18年4月から指定管理者制度を導入している。

2) 施設の概要

所在地	下関市菊川町大字下岡枝字西所光508番地1
建築面積	208.47㎡
建設事業費	21,280千円
施設使用料	無料
業務内容	高齢者の研修、教養の向上のための各種教室など
指定管理者	一般財団法人下関市公営施設管理公社（非公募、R5.3.31まで）
公共施設の 適正配置に 関する方向性	効率的な施設管理と活性化を図るため、2028年度までに比較的規模の大きい集会施設への機能の集約化と現施設の解体・譲渡を検討する。

3) 施設の現況

年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
利用者数	2,992人	2,492人	2,316人	2,156人	2,006人

(9) 菊川農村婦人の家【建設農林課】

1) 沿革

農村婦人の福祉及び資質向上と農村地域社会における婦人の役割を醸成するための共同施設として、昭和55年4月に設置。平成18年4月から指定管理者制度を導入している。

2) 施設の概況

所在地	下関市菊川町大字上岡枝759番地2
建築面積	306.14㎡
建設事業費	41,343千円
施設使用料	農村婦人の生活改善を目的とした事業を行う場合の参加料を徴しない場合は無料 その他は150円～1,310円
業務内容	農村婦人の活動、技術の習得及び情報交換
指定管理者	菊川農村婦人の家 農産加工技術員 (公募、R8.3.31まで)
公共施設の 適正配置に 関する方向性	他類似施設との集約化を中期から後期(2023～2034年度)に検討する。

3) 施設の現況

令和3年度利用者数

全館	農産加工 実習室	和室	健康管理室	図書室	計
128人	1,128人	355人	0人	15人	1,626人

(10) 菊川堆肥センター【建設農林課】

1) 沿革

家畜排せつ物を原料とし環境に配慮した低コスト良質有機堆肥の製造・供給拠点として平成17年2月に整備した。平成17年2月から指定管理者制度を導入している。

2) 施設の概況

所在地	下関市菊川町大字久野10556番地17
建築面積	3,340㎡
建設事業費	216,500千円
施設使用料	家畜糞尿 1トン当たり 2,600円を超えない範囲
業務内容	家畜排せつ物等の有機性資源を原料とした堆肥の製造

指定管理者	山口県酪農農業協同組合（公募、R7.3.31まで）
公共施設の 適正配置に 関する方向性	民間活力の導入等を目的として、中期から後期（2023～2034年度）に譲渡する方向で検討する。

3) 施設の現況（令和3年度）

利用農家 1戸 年間搬入量 237トン

(11) 農業集落排水施設【建設農林課】

1) 沿革

平成3年度から、菊川町内の生活環境の改善を図り、併せて公共用水域の水質保全に寄与するため、農業集落におけるし尿、生活雑排水等の汚水を処理する施設として整備を開始し、平成20年度までに町内の5処理区（大野、菊川中央、上田部、檜崎、吉賀）を整備した。

2) 施設の概要

所在地	下関市菊川町内5処理区（大野、菊川中央、上田部、檜崎、吉賀）
処理面積	363ha（全体）
建設事業費	7,153,000千円（全体）
施設使用料	排水施設使用料（受益者のみ）
業務内容	し尿及び生活雑排水の処理
指定管理者	直営
公共施設の 適正配置に 関する方向性	インフラ施設として継続する。

3) 施設の現況

施設接続済戸数 2,424戸（令和4年3月末現在）。

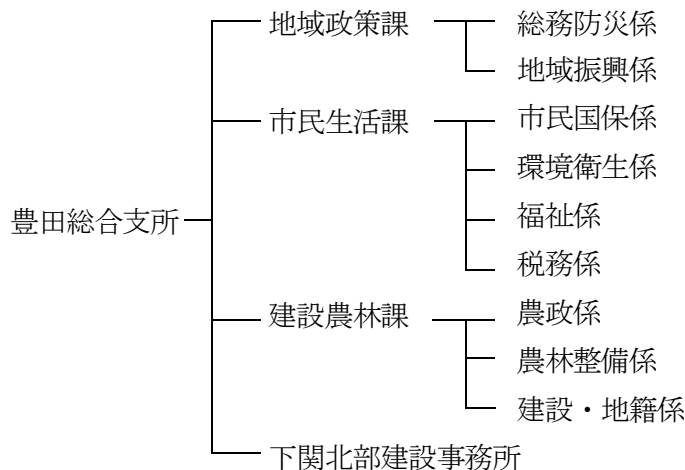
豊田総合支所

1. 豊田区域の概要及び特色

豊田区域は下関市の北東部に位置し、ほぼ正方形をした地形で周囲を600m程度の山々に囲まれた盆地となっており、区域の中心部を南北に山陽、山陰の分水嶺が走っている。区域の総面積は163.47km²でうち約80%を森林面積が占める中山間地帯である。産業は農林業を主体とした第1次産業が基幹産業となっているが、高齢化が進み過疎地域の指定を受けている。

この区域は豊田県立自然公園(豊田湖、華山、狗留孫山、石柱溪)、温泉、国指定天然記念物「木屋川ゲンジボタル発生地」、国指定名勝天然記念物「石柱溪」、梨狩り、冬のワカサギ釣りなど数多くの観光資源に恵まれている。また、豊田湖畔公園をはじめ豊田農業公園「みのりの丘」や道の駅「蜷街道西ノ市」が整備され、農業体験や地域農林産物の販売等を通じ都市と農村との交流拠点となっている。

2. 豊田総合支所の組織図



3. 特色ある事業

(1) 人口定住促進事業【地域政策課】

豊田区域は高齢化が進み過疎地域の指定を受けていることから、将来にわたり定住する意思のある人に対し、奨励措置を講じることにより管内の人口定住を促進し地域の活性化を図ることを目的として定住奨励金や第3子以降の子の出産に対し出産祝金制度などを実施している。

(2) 観光振興等関連事業【豊田総合支所】

豊田地域最大のイベントである「ホテル祭り」は、企画から運営まで多くの住民が参加することで地域の活力が醸成されている。また、時期を同じくして運航される全国初の「ホテル舟」は、ホテルを通じた自然の豊かさを実感でき、観光客の増加に繋がっている。その他にも豊田のふるさとまつり、ホテルの里湯遊ウォークなどを開催することで、交流人口の増加を図り、併せて活気ある地域づくりを行っている。

4. 所管する施設**(1) 豊田湖畔公園【地域政策課】****1) 沿革**

森と湖にまつまれた自然豊かな豊田県立自然公園の中に滞在型レクリエーション活動の場を確保し、住民や観光客の利用により、住民福祉の増進と観光の振興を図ることを目的として開設。平成18年4月から指定管理者制度を導入している。

2) 施設の概要

所在地	下関市豊田町大字地吉348番地
設置	平成7年4月
面積	敷地面積 約20ha 建築面積 789㎡
建設事業費	1,524,407,000円
指定管理者	一般財団法人 豊田湖畔公園管理財団(公募、R8.3.31まで)
業務の内容	キャンプ場・宿泊等の公園施設等の管理運営
主な設備	湖畔公園キャンプ場、湖畔公園宿泊棟(ケビン)、生産物直売・食材供給施設、バーベキュー施設、イベント広場、野外ステージ、釣り桟橋、木製アスレチック遊具、その他付帯施設
公共施設の適正配置に関する方向性	存続

3) 施設の現況

年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
利用延人数	17,878人	18,350人	20,334人	18,101人	26,001人

(2) 道の駅「蛸街道西ノ市」【地域政策課】**1) 沿革**

山口県内では17番目の道の駅として平成16年12月に開設。

当施設は地域の歴史、自然、文化等を後世に伝え、新しい地域個性の形成を目指すとともに市民と来訪者との交流を通じて住民生活に潤いを提供し、もって市民の福祉の向上、地域経済

(豊田総合支所)

の活性化を図ることを目的として設置、開設当初より指定管理者制度を導入している。

2) 施設の概要

所在地	下関市豊田町大字中村876番地4
設置	平成16年12月
面積	敷地面積 13,099.85 m ² 建築面積 2,266.44 m ²
構造	木造瓦葺平屋建
建設事業費	1,024,000,000円
指定管理者	株式会社 豊田ふるさとセンター (公募、R6.3.31まで)
業務の内容	観光情報の提供、特産品等の販売、施設使用に関する業務
主な設備	観光総合案内所、野菜市、産品等販売施設、食堂、休憩所、会議室、温浴施設、情報コーナー、その他付帯施設
公共施設の 適正配置に 関する方向性	存続

3) 施設の現況

年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
利用延人数	732,986人	706,816人	675,057人	508,539人	601,321人

(3) 下関市豊田農村勤労者福祉センター【地域政策課】

1) 沿革

農村地域における勤労者の体力の向上と教養の振興を図り、就業の円滑と雇用の安定に資するため設置。

2) 施設の概要

所在地	下関市豊田町大字浮石2528番地1
設置	昭和55年4月
面積	敷地面積 3,602.3 m ² 建築面積 1,117 m ²
構造	鉄筋コンクリート一部鉄骨造平屋建
建設事業費	114,500,000円
主な設備	体育館 (バレーボール2面、バドミントン3面、卓球3台)、研修室 (調理台7台)、和室2部屋、会議室1部屋
公共施設の 適正配置に 関する方向性	存続

3) 施設の現況

年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
利用延人数	3,744人	2,663人	3,183人	1,490人	2,039人

(4) 豊田武道館【地域政策課】

1) 沿革

市民の健康の増進と体育の振興を図るため設置。

2) 施設の概要

所在地	下関市豊田町大字矢田208番地3
設置	昭和62年4月
面積	敷地面積 2,924 m ² 建築面積 786.14 m ²
構造	鉄筋コンクリート一部鉄骨造平屋建
建設事業費	111,416,000円
主な設備	柔道場、剣道場、更衣室、事務室、控室、倉庫
公共施設の 適正配置に 関する方向性	中期(2023~2028年度)以降、集約化

3) 施設の現況

年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
利用延人数	3,923人	3,687人	3,096人	2,493人	2,048人

(5) 豊田テニスコート【地域政策課】

1) 沿革

市民の健康の増進と体育の振興を図るため、豊田武道館に併設。

2) 施設の概要

所在地	下関市豊田町大字矢田208番地3
設置	昭和62年4月
面積	敷地面積 1,868 m ²
構造	砂入人工芝
建設事業費	19,968,000円
主な設備	テニスコート2面、照明設備、倉庫

3) 施設の現況

年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
利用延人数	6,741人	6,228人	6,128人	5,029人	5,211人

(6) 豊田中村運動公園【地域政策課】

1) 沿革

市民の健康の増進と体育の振興を図るため、多目的広場として設置。

2) 施設の概要

所在地	下関市豊田町大字中村810番地2
設置	平成18年10月
面積	敷地面積 5,741 m ² 建築面積 3.35 m ²
建設事業費	4,095,000円
主な設備	多目的広場(グラウンドゴルフ、防災訓練等)、トイレ
公共施設の 適正配置に 関する方向性	存続

3) 施設の現況

年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
利用延人数	5,176人	4,370人	6,478人	3,066人	4,020人

(7) 日野温泉いこいの家【市民生活課】

1) 沿革

市民の福祉と保健の向上及び増進を図ることを目的として設置。

2) 施設の概要

所在地	下関市豊田町大字日野14番地2
設置	平成11年12月
面積	延床面積 99.71 m ² 建築面積 115.74 m ²
構造	木造平屋建
建設事業費	43,446,000円
主な設備	入浴施設、休養施設
公共施設の 適正配置に 関する方向性	土地・源泉を含め、中期(2023~2028年度)に民間に譲渡する方向

3) 施設の現況

年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
利用延人数	3,586人	2,615人	2,590人	1,415人	1,561人

(8) 下関市豊田地域資源循環活用施設【建設農林課】

1) 沿革

畜産農家から排出される家畜の糞尿を堆肥化し、農用地に還元することにより、環境の保全及び土づくりによる地力の増進を図り、もって農業の振興に供する施設として設置。

当該施設は、平成18年4月から指定管理者制度を導入している。

2) 施設の概要

所在地	下関市豊田町大字浮石11052番地1
設置	平成10年7月
面積	敷地面積 10,868 m ² 建築面積 1,980 m ²
構造	鉄骨造平屋建
建設事業費	190,000,000円
指定管理者	有限会社豊田あぐりサービス (公募、R8.3.31まで)
業務の内容	畜産農家からの家畜糞尿の受入及び堆肥化
主な設備	家畜糞尿 (堆肥) 堆積場、堆肥選別機、堆肥袋詰機
公共施設の 適正配置に 関する方向性	中期 (2023~2028年度) 以降、譲渡

3) 施設の現況

利用状況

(単位: t)

年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
家畜糞尿	423	557	370	433	533

(9) 下関市豊田田園空間博物館施設【建設農林課】

1) 沿革

地域住民の参画のもと、農村の持つ多面的機能を再評価し、伝統的な農業施設、美しい農村景観等の保全及び復元を行うとともに、都市との共生を進め地域の活性化を図ることを目的として設置。

当該施設は、平成18年4月から指定管理者制度を導入している。

2) 施設の概要

所在地	下関市豊田町大字八道 (田園空間博物館総合案内所) 下関市豊田町大字杳路子 (旧殿居小学校維新分校)
設置	平成15年4月
面積	敷地面積 409.88 m ² (田園空間博物館総合案内所) 2,355.52 m ² (旧殿居小学校維新分校) 建築面積 135.80 m ² (田園空間博物館総合案内所) 330.08 m ² (旧殿居小学校維新分校)
構造	木造平屋建
建設事業費	30,000,000円 (田園空間博物館総合案内所) 94,773,000円 (旧殿居小学校維新分校)

(豊田総合支所)

指定管理者	有限会社豊田めぐりサービス (公募、R8.3.31 まで)
業務の内容	施設の維持管理、使用に関する受付・許可、企画運営
主な設備	田園空間博物館総合案内所 (休憩・学習・イベント情報室) 旧殿居小学校維新分校 (加工体験室、和室、研修室)
公共施設の 適正配置に 関する方向性	存続

3) 施設の現況

年 度	H 2 9 年 度	H 3 0 年 度	R 1 年 度	R 2 年 度	R 3 年 度
利用延人数	7,082 人	6,459 人	6,208 人	3,461 人	4,261 人

(10) 下関市豊田農業公園【建設農林課】

1) 沿 革

地域住民の参画のもと地域資源の高付加価値化・地域ブランド化を基軸とした事業を展開するとともに、地域農業を支える新規就農者等の人材育成及び確保により農業及び農村の活性化を図るため、生産、研修、体験、交流等の拠点として設置。

当該施設は、平成18年4月から指定管理者制度を導入している。

2) 施設の概要

所 在 地	下関市豊田町大字浮石及び八道 (浮石原地区)
設 置	平成13年9月
面 積	敷地面積 14.8h a 建築面積 7,425.62 m ²
構 造	木造平屋建 (総合営農指導拠点施設、精米製粉施設、産地形成等促進施設、 農機具格納施設) 木造2階建 (滞在型宿泊施設) 鉄骨造平屋建 (農畜産物集出荷貯蔵施設、多目的利用施設、加工体験施設) 鉄骨造 (ハウス施設)
建設事業費	1,270,514,000円
指定管理者	有限会社豊田めぐりサービス (公募、R8.3.31 まで)
業務の内容	施設の維持管理、使用に関する受付・許可、企画運営
主な設備	総合営農指導拠点施設、農畜産物集出荷貯蔵施設、精米製粉施設、 産地形成等促進施設、果樹施設、ハウス施設、多目的利用施設、 加工体験施設、滞在型宿泊施設、農園施設、農機具格納施設、 その他附帯施設
公共施設の 適正配置に 関する方向性	中期 (2023 年度～2028 年度) 以降、譲渡

3) 施設の現況

年 度	H 2 9年度	H 3 0年度	R 1年度	R 2年度	R 3年度
来場者数	64,321人	69,513人	79,227人	68,078人	84,386人

(11) 下関市殿居地区農村集落多目的共同利用施設【建設農林課】

1) 沿 革

地域住民による営農に関する情報交換、地域特産物の開発、農業生産の合理化等地域の拠点施設として、地域農業・農村の活性化を推進することを目的として設置。

当該施設は、平成18年4月から指定管理者制度を導入している。

2) 施設の概要

所 在 地	下関市豊田町大字殿居1094番地1
設 置	平成10年1月
面 積	敷地面積 514.8 m ² 建築面積 283.6 m ²
構 造	鉄骨造平屋建
建設事業費	78,100,000円
指定管理者	殿居区（非公募、R8.3.31まで）
業務の内容	施設の維持管理、使用に関する受付・許可、企画運営
主な設備	農事研修室、調理実習室、多目的ホール
公共施設の 適正配置に 関する方向性	中期（2023年度～2028年度）に、近隣の類似施設（殿居公民館）と機能を集約し、引き続き活用する。

3) 施設の現況

年 度	H 2 9年度	H 3 0年度	R 1年度	R 2年度	R 3年度
利用延人数	2,345人	2,178人	2,159人	1,358人	1,589人

(12) 下関市豊田籾乾燥調製施設【建設農林課】

1) 沿 革

水田農業の生産性及び品質の向上、農業生産の省力化等近代的な基幹作業受託体制を整備し、高付加価値な自然乾燥米を生産するために設置。

当該施設は、平成18年4月から指定管理者制度を導入している。

2) 施設の概要

所 在 地	下関市豊田町大字八道11092番地4
-------	--------------------

(豊田総合支所)

設 置	平成9年9月
面 積	敷地面積 3,940.55 m ² 建築面積 428.88 m ²
構 造	鉄骨造平屋建
建設事業費	218,685,000円
指定管理者	有限会社豊田あぐりサービス (公募、R8.3.31まで)
業務の内容	施設の維持管理、施設利用に係る申込 (粃の乾燥調製依頼) 受付及び業務の実施
主な設備	荷受・計量設備、乾燥設備、粃摺調製施設
公共施設の 適正配置に 関する方向性	中期 (2023~2028年度) 以降、譲渡

3) 施設の現況

利用状況

(単位: kg)

年 度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
粃の乾燥調製	179,330	204,085	171,315	123,228	147,589

(13) 下関市豊田肉用牛繁殖肥育センター【建設農林課】

1) 沿革

肉用牛の繁殖及び肥育技術の実証展示と畜産農家等の技術研修の場の提供を行うことにより、下関市の畜産振興を図ることを目的として設置。

当該施設は、平成18年4月から指定管理者制度を導入している。

2) 施設の概要

所 在 地	下関市豊田町大字浮石10897番地
設 置	平成15年4月
面 積	敷地面積 12,234 m ² 建築面積 594 m ²
構 造	鉄骨造平屋建
建設事業費	55,674,000円
指定管理者	有限会社豊田あぐりサービス (公募、R8.3.31まで)
業務の内容	施設の維持管理、使用に関する受付・許可、自主事業の企画運営
主な設備	牧柵、給水設備、管理室
公共施設の 適正配置に 関する方向性	中期 (2023~2028年度) 以降、譲渡

3) 施設の現況

利用状況

(単位:頭・日)

年 度	H 2 9年度	H 3 0年度	R 1年度	R 2年度	R 3年度
肉 用 牛 の 一 時 預 託 (利用延日数)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)

(14) 下関市林業総合センター【建設農林課】

1) 沿 革

林業従事者の福祉を増進し、林業技術と知識の向上に資するとともに林業所得の増大を図ることを目的として設置し、平成18年4月から指定管理者制度を導入している。

2) 施設の概要

所 在 地	下関市豊田町大字中村853番地1
設 置	平成11年7月
面 積	敷地面積 3,989.09 m ² 建築面積 383.12 m ²
構 造	木造瓦平屋建
建設事業費	97,125,000円
指定管理者	山口県西部森林組合(非公募、R8.3.31まで)
業務の内容	施設等の維持管理、使用許可、運営企画
主な設備	多目的ホール、相談室、研修室
公共施設の 適正配置に 関する方向性	中期(2023~2028年度)以降、譲渡

3) 施設の現況

年 度	H 2 9年度	H 3 0年度	R 1年度	R 2年度	R 3年度
利用延人数	1,475人	1,425人	1,196人	500人	257人

(15) 農業集落排水施設【建設農林課】

1) 沿 革

豊田町大河内地区の生活環境の改善を図り、併せて公共用水域の水質保全に寄与するため、農村集落におけるし尿、生活雑排水等の汚水を処理する施設として、平成6年度から平成9年度の間を整備し、平成9年10月に供用開始している。

(豊田総合支所)

2) 施設の概要

所在地	下関市豊田町大河内地内 1 処理区
設置	平成9年10月 (供用開始)
面積	敷地面積 919 m ² 建築面積 65.13 m ²
構造	鉄筋コンクリート一部鉄骨造平屋建
建設事業費	4, 770, 000, 000円
業務の内容	し尿及び生活雑排水の処理
主な設備	処理面積 12ha 計画人口 350人
公共施設の 適正配置に 関する方向性	存続

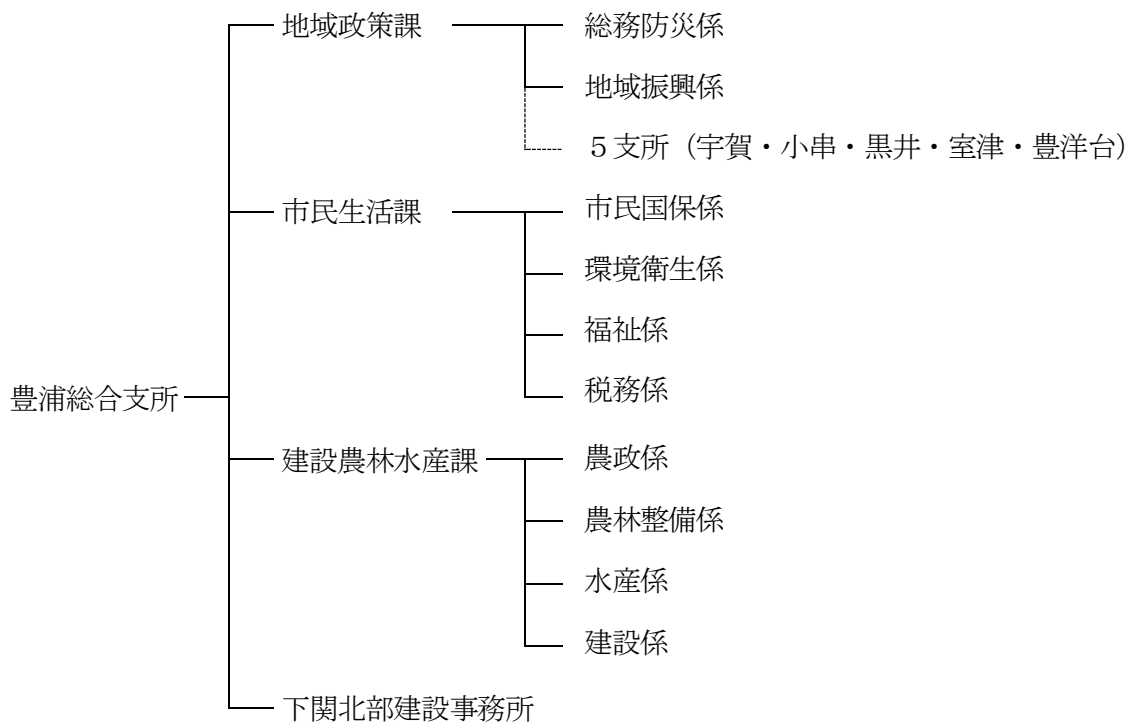
豊浦総合支所

1. 豊浦区域の概要及び特色

豊浦地域は下関市の中西部に位置し、響灘に面し、東西7km、南北17km、総面積75.83km²、人口15,914人(令和4年9月末)の地域である。北東部にある狗留孫山(616m)、南東部の鬼ヶ城山(620m)を結んだ山稜線が他地域との境界線になっている。地域の西部は、西南端の室津御崎から北端の二見夫婦岩まで、24kmの美しい海岸線が続いている。

市の総合計画では、交流促進ゾーン、環境共生ゾーンに位置づけられている。

2. 豊浦総合支所の組織図



3. 特色のある事業

(1) 住民参加型防災救急訓練業務【地域政策課】

住民一人ひとりの防災意識や地域コミュニティにおける防災力を向上させる取組として、これまでの防災関係機関(行政、消防、警察)の行動に主眼を置いていた訓練内容を見直し、平成29年度からは、住民(自治会・まちづくり協議会等)参加・体験型の訓練を実施している。訓練の内容としては、大規模な地震が発生した想定で、自宅から避難所までの徒歩等による避難、非常時の持ち出し品の持参・確認、避難所の運営・情報発信などの訓練を行っている。

(2) 観光交流事業【地域政策課/建設農林水産課】

豊浦町の観光拠点であり、約800年の歴史を誇る“川棚温泉”を中心としながら、毎年5月の「川棚温泉まつり」、8月の「豊浦夏まつり&花火大会」、10月の「豊浦コスモスまつり」の開催・運営を支援し、観光客の増加及び交流人口の拡大を図っている。また、市民と来訪者の交流促進を図り、地域の特性を活用した交流拠点として設置された“下関市川棚温泉交流センター”では、多彩な交流イベントや観光情報発信を行っている。

さらに、「穏やかで優しい、豊かな風土を活かした、『癒やしの小旅行』を可能にするまちづくり」を目指す「豊浦地域〔川棚温泉エリア〕再生計画策定プロジェクト」に取り組んでいる。

(3) 地域スポーツの振興及び郷土愛醸成事業【地域政策課】

毎年2月に“リフレッシュパーク豊浦”をスタート・ゴールとする「豊浦リフレッシュマラソン」の開催・運営を支援し、地域スポーツの振興を図るとともに、参加者と地域住民との交流促進を図っている。また、数々の力士を輩出してきた「相撲のまち、とようら」として「豊浦子ども相撲大会」を開催し、国技である相撲の振興を図っている。

なお、豊浦町出身力士の顕彰をたたえとともに、「相撲のまち、とようら」を広く発信し、郷土愛の醸成と地域のつながりを推進することを目的として、平成29年8月から、豊浦総合支所庁舎内に「郷土力士コーナー」を設置している。

(4) 豊浦総合支援学校障害児放課後対策事業【市民生活課】

山口県立豊浦総合支援学校において、当該学校に通学する児童及び生徒の授業終了後の保護・育成等を行うことにより、当該児童及び生徒並びにその家族の福祉の増進を図る事業を行っている。

4. 所管する施設

(1) 下関市川棚温泉交流センター【地域政策課】

1) 沿革

平成22年1月、地域主導のまちづくりを実施することを目的とした「まちづくり交付金事業」により、豊浦地域の歴史・文化・自然環境等の特性を活かした交流の場を提供する観光交流施設として設置。

多彩な交流イベントを開催することができる「大交流室」、会議や展示、カフェ等を利用できる「小交流室」、野外イベント等に利用できる「まちなか広場」などを整備している。また、

ひとびとの暮らしや文化について学ぶことのできる「下関市烏山民俗資料館」を併設しており、観光と文化が複合した施設となっている。

2) 施設の概要

所在地	下関市豊浦町大字川棚字湯町5180番地		
敷地面積	4,498㎡(まちなか広場を含む)		
延床面積	1,242.85㎡		
建築工事費	468,344,100円		
指定管理者	川棚温泉まちづくり株式会社(公募、R6.3.31まで)		
業務の内容	施設使用に関する受付、観光情報提供、自主企画事業の企画運営等		
施設使用料 (1時間あたり)	区分	施設使用料	冷暖房設備使用料 冷房 暖房
	大交流室	830円	210円 310円
	小交流室	310円	100円 150円
公共施設の適正配置に関する方向性	存続		

3) 施設の現況

	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
入館者数	41,720人	44,401人	33,163人	14,206人	14,466人

(2) 体育施設(豊浦管内)【地域政策課】

1) 沿革

市民の健康の増進とスポーツの振興を図ることを目的として設置。

2) 施設の概要

夢ヶ丘公園	所在地	下関市豊浦町大字小串
	設置	昭和60年4月
	面積	敷地: 62,000㎡ 野球場: 15,500㎡、テニスコート: 2,888㎡ 多目的グラウンド: 9,800㎡ プール: 2,200㎡
	設備内容	管理棟、駐車場102台、 野球場: 本塁～中堅119m、両翼96m(夜間照明設備6基) テニスコート: 砂入り人工芝4面(夜間照明設備12基) プール: 25m×13m、幼児用、滑り台

	公共施設の適正配置に関する方向性	プール管理棟、野球場管理棟：存続 テニスコート（更衣室）、管理事務所：前期（2015～2022年度）は存続、中期～後期（2023～2034年度）に集約化する方向で検討している。
下関市豊浦夢が丘スポーツセンター	所在地	下関市豊浦町大字小串10140番地
	設置	平成16年4月
	面積	延床：4,006.52㎡ 敷地：21,706.72㎡
	設備内容	バレーボール2面、バスケットボール2面 バドミントン6面、インディアカ6面 武道場：12m×15m（柔道、剣道） ステージ：17m×10m 2階観覧席：固定式496席、車椅子用8席 駐車場：66台
	公共施設の適正配置に関する方向性	存続
下関市豊浦体育センター	所在地	下関市豊浦町大字小串210番地2
	設置	昭和54年4月
	面積	延床：1,437.66㎡ 敷地：1,974.00㎡
	設備内容	バレーボール2面、バスケットボール1面、卓球3面 バドミントン6面、インディアカ6面、フットサル1面 駐車場：5台
	公共施設の適正配置に関する方向性	前期（2015～2022年度）は存続、中期～後期（2023～2034年度）に集約化する方向で検討している。

3) 施設の現況

利用者数		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
夢ヶ丘公園	野球場	9,792人	10,344人	7,835人	6,086人	7,954人
	テニスコート	9,399人	9,755人	7,972人	4,400人	6,881人
	プール	4,253人	3,807人	2,624人	0人	0人
下関市豊浦夢が丘スポーツセンター		22,250人	22,148人	23,152人	18,518人	16,889人
下関市豊浦体育センター		11,854人	12,083人	12,039人	9,195人	8,801人

(3) 下関市豊浦コミュニティ情報プラザ【地域政策課】

1) 沿革

交通結節点としての利便性を高めるとともに、その優位性を生かし、市民への情報発信及び地域住民のコミュニティ活動の振興を図ることを目的として設置。

2) 施設の概要

所在地	下関市豊浦町大字川棚字田嶋前7112番地4
設置	平成14年3月
敷地面積	2,877.69㎡
建物面積	床面積:310.48㎡ 建築面積:366.86㎡
構造	鉄筋コンクリート造・一部鉄骨造(立体トラス構造)平屋建
附帯設備	ふれあい広場:214.00㎡、タクシープール:373.02㎡ 駐車場:25台、駐輪場:179台
公共施設の適正配置に関する方向性	存続

(4) 下関市豊浦多世代交流センター【市民生活課】

1) 沿革

地域の要望により、多世代間の交流及び高齢者の生きがいと健康づくりの増進を図る目的で平成7年4月に設置された。当初は、地元自治会に運営を委託していたが、平成14年度からは旧豊浦町が運営を行っている。

2) 施設の概要

所在地	下関市豊浦町豊洋台一丁目447番地290
設置	平成7年4月
面積	敷地面積965.00㎡、建物面積449.79㎡
構造	鉄骨造 平屋建
建設事業費	74,335,100円
業務内容	施設使用に関する受付、施設の維持
主な設備	交流室、研修室、娯楽室、調理実習室、事務室
公共施設の適正配置に関する方向性	中期～後期(2023～2034年度)に集約化する方向で検討している。

3) 施設の現況

	H29 年度	H30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度
開館日数	308 日	308 日	309 日	250 日	243 日
利用団体	672 団体	667 団体	623 団体	302 団体	263 団体
利用人数	10,224 人	8,873 人	10,783 人	3,240 人	4,049 人

(5) 下関市豊浦自然活用総合管理センター（とんがりぼうし豊浦）【建設農林水産課】

1) 沿革

平成2年4月に開館し、豊かな自然環境の活用を図り、地域の特性を活かした快適で活力あるまちづくり、人づくりを総合的に推進するために設置。平成18年度から指定管理者制度を導入している。

2) 施設の概要

所在地	下関市豊浦町大字川棚5262番地1
設置	平成2年4月
建物面積	鉄骨平屋建 574.25㎡
建設事業費	100,000千円
指定管理者	一般社団法人 豊浦産業振興事業団（公募、R8.3.31まで）
業務内容	運営・維持管理・利用促進
公共施設の適正配置に関する方向性	前期（2015～2022年度）に、利用団体等に機能及び建物を譲渡して活用していく方向、又は他の公共施設等に機能を集約する方向で検討している。

使用料

区分	午前9時 ～正午	正午 ～午後5時	午後5時 ～午後10時	冷暖房設備 (1時間あたり)	
				冷房	暖房
研修ホール	2,610円	3,130円	4,180円	210円	310円
会議室	620円	1,030円	1,460円	100円	150円

*市外居住者の場合は加算あり

3) 施設の現況

	H29 年度	H30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度
使用者人数	6,955 人	6,777 人	7,226 人	3,332 人	3,444 人
延べ使用団体数	234 団体	231 団体	225 団体	160 団体	143 団体

(6) リフレッシュパーク豊浦【建設農林水産課】

1) 沿革

「活力ある個性豊かな地域づくり」を目指し、ふるさと創生交付金を使い創設。平成7年10月開園、平成8年9月から有料化。平成18年度から指定管理者制度を導入している。

2) 施設の概要

所在地	下関市豊浦町大字川棚2035番地9
面積	135,361㎡
施設	ビジターセンター、バラ園、イングリッシュガーデン、日本庭園、大花壇、ハーブ園、遊具広場、芝生広場、イベント広場、便所、駐車場、コスモス・菜の花園
指定管理者	川棚温泉まちづくり株式会社（公募、R8.3.31まで）
業務内容	運営・維持管理・利用促進
公共施設の適正配置に関する方向性	存続

3) 施設の現況

	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
利用者数	83,753人	79,883人	89,515人	67,432人	69,905人
入園料金	6,700,010円	5,803,800円	10,036,290円	8,858,640円	9,784,970円

(7) 農業集落排水施設【建設農林水産課】

1) 沿革

豊浦町白滝地区の農業用水の水質保全と生活環境の整備を行い、農業生産の増大、農業施設の機能維持及び生活環境の改善を図るため、農村集落におけるし尿、生活雑排水等の汚水を処理する施設として、平成9年度から平成11年度の間に整備し、平成12年3月に供用開始している。

2) 施設の概要

所在地	下関市豊浦町白滝地区 1処理区
処理面積	5.0ha
計画人口	230人 52戸
建設事業費	176,400千円
供用開始	平成12年3月
事業内容	し尿及び生活雑排水の処理、搬出汚泥（堆肥）の循環利用
公共施設の適正配置に関する方向性	存続

(豊浦総合支所)

5. 所管する主な業務【下関北部建設事務所】

(1) 公共土木施設等の調査、設計及び施工監督業務

4 総合支所管内の道路、橋りょう、河川、交通安全施設等の新設、改良及び補修工事の設計並びに施工監督、公共土木施設等の災害復旧業務を行う。

【設計件数】

地区 年度	菊川		豊田		豊浦		豊北		年度合計	
	件数	うち 災害復旧	件数	うち 災害復旧	件数	うち 災害復旧	件数	うち 災害復旧	件数	うち 災害復旧
平成30年度	12	(0)	28	(0)	26	(3)	36	(14)	102	(17)
令和元年度	20	(0)	24	(3)	50	(15)	47	(21)	141	(39)
令和2年度	30	(5)	15	(0)	38	(15)	35	(18)	118	(38)
令和3年度	17	(0)	27	(2)	33	(5)	42	(7)	119	(14)

(2) 工事及び災害復旧業務に伴う契約事務

総合支所長に対する事務委任規則（平成22年規則第23号）において事務委任された工事契約及び災害査定用調査設計委託業務に係る契約事務を行う。

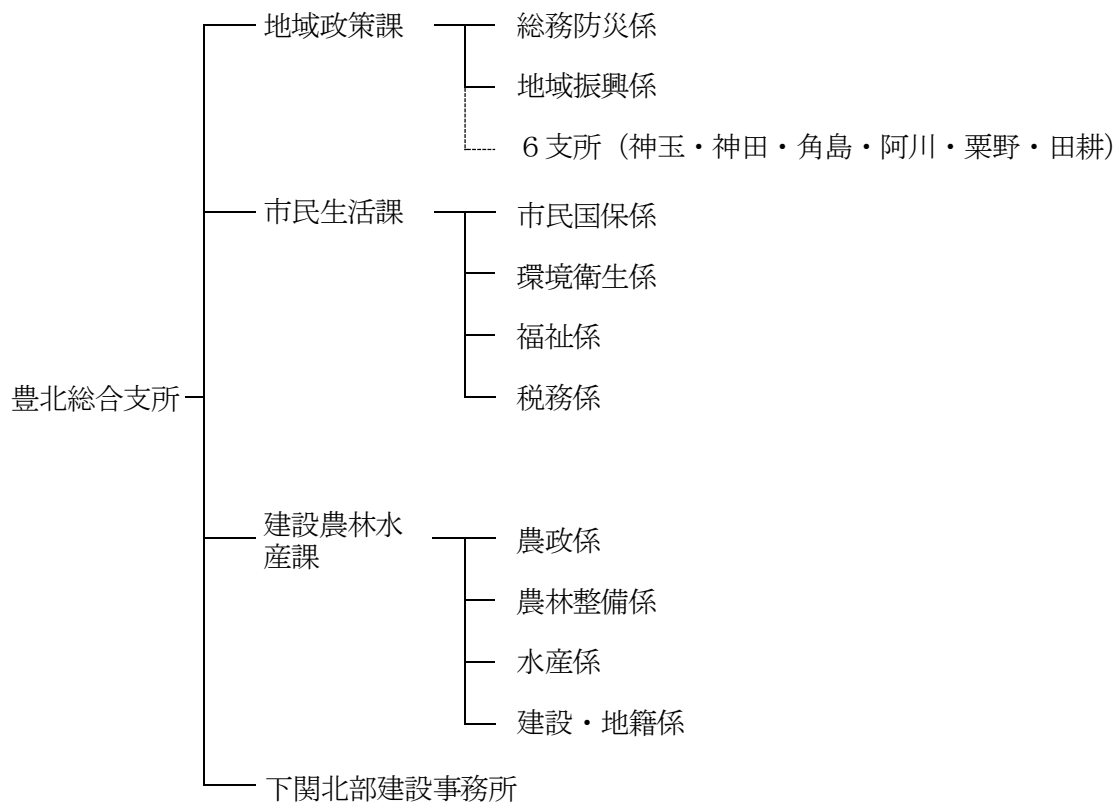
豊北総合支所

1. 豊北区域の概要及び特色

豊北区域は下関市の北端に位置し、東西15km、南北17kmのひし形の本土部分と、海上約2km沖に浮かぶ角島から構成されている。北は日本海、西は響灘に面し、東は標高667.6mの白滝山、南は標高616.3mの狗留孫山を区域境としている。農林・漁業を主産業とし、そのほとんどが北長門海岸国定公園に指定されている海岸線の青い海や白い砂浜、清流粟野川、緑の山々など豊かな自然に恵まれた地域である。

また、全国的にも貴重な国指定史跡「土井ヶ浜遺跡」や重要文化財の「角島灯台」、その角島に架かる角島大橋などがよく知られている。

2. 豊北総合支所の概要



3. 特色ある事業

(1) 人口定住促進事業【地域政策課】

豊北区域の人口定住に資するため、市外からの定住希望者が定住先を決めるまでの一定期間、安価な家賃の住まいを提供する人口定住促進住宅「豊北ハイツ」の運営や定住奨励金、出産祝い金制度などを実施している。

(豊北総合支所)

(2) 地域づくり事業【地域政策課】

7年に一度開催される、山口県指定無形民俗文化財「浜出（殿）祭」（次回は、令和7年4月開催予定）を始め、「豊北夏まつり」や「豊北町観光協会」などへの補助等を通じ、元気のある地域づくりとともに交流人口や観光客の増加を図っている。

(3) 地域スポーツの振興【地域政策課】

平成元年開始の「つのしま夕やけマラソン」や豊北町内地区対抗による「豊北地区球技大会」など、豊北町民のスポーツに対する意識向上、健康増進を推進している。

(4) 豊北町ごみゼロ運動【市民生活課】

豊北町民の環境問題に対する意識向上を図る目的で、平成8年に開始。以降毎年12月第1日曜日に実施している。

(5) 水産物ブランド化推進事業【建設農林水産課】

豊北区域で水揚げされるケンサキイカの需要及び販路の拡大を図り、「下関北浦特牛イカ」としてブランド化を推進するため、のぼり、パンフレットの作成等を行う協議会への支援を行っている。

4. 所管する施設

※公共施設の適正配置に関する方向性については、「公共施設の適正配置に関する方向性」2018年12月を参照。

(1) 下関市豊北地区集客施設（道の駅「北浦街道 豊北」）【地域政策課】

1) 沿革

道路利用者に対し、良好な休憩の場及び道路情報を提供するとともに、地域の観光・交流イベント情報の発信、地域物産品の販売等を通じて交流人口の拡大を図り、地域の活性化と産業の振興に資することを目的とする。

2) 施設の概要

所在地	下関市豊北町大字神田上314番1
設置	平成24年3月24日
面積	建物：1,486.86㎡ 敷地：12,456㎡ (山口県所管用地：2,960㎡は別途管理)
構造	鉄筋コンクリート造（一部屋根部分：木造立体トラス構造） 平屋建
指定管理者	株式会社道の駅豊北（公募、R9.3.31まで）

3) 施設の現況

(単位：日／人／円 人数：レジ通過者)

	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R2 年度	R3 年度
開設日数	341	341	340	317	341
利用者数	610,951	615,545	597,374	428,191	455,074
売上額	916,630,469	958,702,981	937,838,397	705,714,698	760,112,432

(2) 角島灯台公園【地域政策課】

1) 沿革

明治9年に日本海側初の洋式灯台として建設された角島灯台は、その歴史的価値とともに、美しく堅牢な御影石造の建造物として、重要文化財とされている。

その隣接地に当該公園を設置し、航路標識として、また文化遺産としての角島灯台に対する市民の理解と愛着を深めるとともに、観光レクリエーション客の増大と交流を図り、活力ある地域社会の形成に資することを目的とする。

2) 施設の概要

所在地	下関市豊北町大字角島2343番地2
設置	平成5年度展望ギャラリー建設、灯台記念館整備等公園整備 平成12年度観光交流施設建設
面積	建物：283㎡ 敷地：5,585㎡
構造	鉄筋コンクリート造 2階建外
指定管理者	株式会社ギャラリー館（公募、R8.3.31まで）

3) 施設の現況

	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R2 年度	R3 年度
灯台公園利用延人数	399,609 人	317,013 人	292,842 人	115,875 人	91,497 人
灯台参観者延人数	101,904 人	98,349 人	92,171 人	45,756 人	40,678 人

(3) 角島サイクルポート【地域政策課】

1) 沿革

市民が自然環境を体験し、学習できる場を提供することにより市民の余暇の活用に寄与するとともに、体験型観光を促進し、角島における交流人口増加を図ることを目的とする。

平成22年度に施設の管理運営委託を見直し、平成23年度から指定管理者制度を適用している。

2) 施設の概要

所在地	下関市豊北町大字角島853番1
設置	平成21年4月24日
面積	建物：108.86㎡ 敷地：7,243㎡
構造	木造 平屋建
指定管理者	豊北町むらおこし物産振興協同組合（公募、R8.3.31まで）

3) 施設の現況

(実人数：交流広場、学習加工体験室利用を含む。)

	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
開設日数	245日	246日	219日	191日	185日
利用者数	1,465人	1,540人	1,228人	913人	347人

(4) 体育施設（豊北管内）【地域政策課】

1) 沿革

市民の健康の増進と体育の振興を図ることを目的とする。

2) 施設の概要

豊北総合運動公園	所在地	下関市豊北町大字滝部2914番地
	設置	平成4年4月
	面積	敷地：102,183.00㎡ 野球場：16,500㎡、テニスコート：4,700㎡ 多目的グラウンド：16,050㎡
	設備内容	管理棟、駐車場230台、芝・ふれあい広場等 野球場：本塁～中堅122m、両翼98m（夜間照明設備6基） テニスコート：全天候型4面、練習コート1面 （夜間照明設備13基） 多目的グラウンド：ソフトボール2面、少年サッカー2面 （夜間照明設備10基）
豊北体育センター	所在地	下関市豊北町大字滝部3158番地1
	設置	昭和58年3月
	面積	建物：1,415.73㎡ 敷地：3,411㎡
	設備内容	バレーボール2面、バスケットボール2面、卓球8面 バトミントン6面

グラウンド 神田市民	所在地	下関市豊北町大字神田2410番地
	設置	平成元年2月
	面積	敷地：11,527㎡
	設備内容	ソフトボール（夜間照明設備あり）
グラウンド 田耕市民	所在地	下関市豊北町大字田耕4332番地
	設置	昭和60年
	面積	敷地：6,800㎡
	設備内容	野球1面、ソフトボール2面（夜間照明設備あり）

3) 施設の現況

			H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
豊北総合運動公園	テニスコート	利用日数	305日	288日	285日	261日	209日
		利用者数	6,358人	4,321人	3,462人	3,627人	3,238人
	多目的グラウンド	利用日数	233日	210日	230日	206日	215日
		利用者数	7,300人	6,505人	9,026人	4,779人	6,433人
	野球場	利用日数	71日	74日	102日	73日	65日
		利用者数	5,103人	4,198人	4,701人	3,586人	4,763人
	芝グラウンド	利用日数	86日	71日	74日	22日	35日
		利用者数	5,061人	3,222人	5,074人	1,159人	2,151人
	管理棟	利用日数	25日	26日	28日	12日	7日
		利用者数	1,105人	1,464人	2,232人	276人	760人
計	利用者数	24,927人	19,710人	24,495人	13,427人	17,345人	
豊北体育センター	利用日数	264日	267日	235日	216日	241日	
	利用者数	6,712人	5,921人	5,076人	4,415人	4,336人	
神田市民グラウンド	利用日数	112日	99日	91日	50日	63日	
	利用者数	2,954人	3,444人	2,318人	1,271人	1,347人	
田耕市民グラウンド	利用日数	90日	85日	82日	67日	94日	
	利用者数	2,727人	3,842人	3,097人	1,873人	2,010人	

(5) デイサービスセンター【市民生活課】

1) 沿革

廃園となった保育所を転用して、高齢者の福祉の増進を目的に設置。

デイサービスセンターとしての役割のほか、利用者の心身の機能維持及び利用者家族の身体的・精神的負担の軽減を図ることも目的に事業を行っており、豊北地域における在宅高齢者福祉施策推進の拠点施設の1つである。

2) 施設の概要

名 称	下関市和久生きがいデイサービスセンター	下関市デイサービスセンター「ほのぼの」
所 在 地	豊北町大字神田上141番地3	豊北町大字神田4611番地2
土地面積	667.97 m ²	2,943.49 m ²
建物面積	297.70 m ²	406.00 m ²
供用開始	平成13年4月	平成11年2月
指定管理者	社会福祉法人下関市社会福祉協議会（非公募、R8.3.31まで）	
業務内容	身体状況やニーズを把握した上で、送迎、食事、入浴、日常動作訓練、レクリエーション等の各種サービスを提供する。	

3) 施設の現況

		H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
下関市和久生きがい デイサービスセンター	開設日数	244日	244日	235日	241日	242日
	利用者数	3,071人	3,001人	3,106人	2,841人	2,948人
下関市デイサービス センター「ほのぼの」	開設日数	291日	256日	255日	255日	257日
	利用者数	1,246人	1,549人	1,577人	2,175人	2,050人

(6) 下関市角島地域資源活用総合交流促進センター（しおかぜの里角島）

【建設農林水産課】

1) 沿革

都市農村交流の促進及び農林水産業振興を図るため、地域資源を活用した交流拠点として設置。

2) 施設の概要

所 在 地	下関市豊北町大字角島853番地4
設置年月日	平成13年8月24日
面 積	延床：526 m ² 敷地：4,898 m ²
事業費	173,295千円
指定管理者	豊北町むらおこし物産振興協同組合（公募、R7.3.31まで）

3) 施設の現況

	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
利用者数	164,479人	144,027人	132,684人	66,632人	51,999人

(7) 角島尾山地区農業集落排水施設【建設農林水産課】

1) 設置目的

農業集落の生活環境の向上及び公共用水域の保全を図るため、排水施設を設置。

2) 施設の概要

所在地	下関市豊北町大字角島2443番地34
敷地面積	1,227㎡
建設事業費	740,756千円
供用開始	平成21年9月1日 一部供用開始 平成22年4月1日 全面供用開始
対象人口	835人
対象戸数	195戸

3) 施設の現況

施設接続済戸数 144戸 (令和4年3月末現在)

